

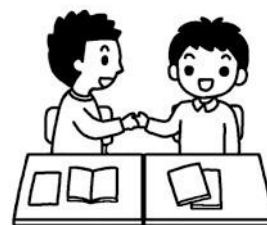
三小だより 9月号

二学期のスタートにあたり

校長 大鳥 清裕

長かった夏休みが終わりました。今年もここ数年と同様、猛暑が続き、熱中症のニュースがあちこちから聞こえてきました。また、8月も後半になって大雨や雷雨が各地で頻発し、近くの羽曳野市では東除川の護岸が崩落し、近隣の住民の方が避難されたというニュースもありました。幸い本校では大きな事故や事件の報告もなく、無事2学期を迎えることができたことをうれしく思っています。

夏休み中、特別教室へのエアコンの設置や、避難所設営の際に用いるマンホールトイレ設置の工事が行われました。学校へ来られた際には工事の影響でご不便をおかけしたかもしれませんが、おかげさまで2学期からは、特別教室でも涼しい環境で授業を行うことができるようになりました。まだしばらくは暑い日々が続くかと思われますので、エアコンは有効に活用していきたいと考えています。



さて、いよいよ新学期のスタートです。2学期は約4か月と長期間であり、その間に、運動会や音楽会、遠足や6年生の修学旅行など、様々な行事が行われます。行事にはそれぞれ目標や狙いがあります。その行事を通して子どもたちにどういう力をつけるのか、子どもたちをどう成長させるのかをしっかりと意識して、様々な取り組みを進めてまいりたいと思います。その結果、一つの取り組みが終わったときに、これまでと一味違う、成長した子どもの姿が見られればと願います。もちろん、学校生活は行事だけではありません。日々の学習や、朝読書、給食、清掃活動など地道な日常生活の積み重ねです。それらあたりまえの事柄を一つ一つ丁寧に続けることも、子どもたちにとって大切な勉強の一つです。節目になる行事と、日常生活の積み重ねにより、子どもたちが一人ひとり、また学級・学年集団としても大きく成長する2学期としたいと思います。

4月に6年生が受けた「全国学力学習状況調査」の結果が返ってきました。詳しい報告は後日改めてさせていただきますが、今年度は算数で改善が見られました。また、児童質問紙で国語や算数の学習に取り組む姿勢に関する質問（「国語や算数の勉強は好きですか」「国語や算数の勉強は大切だと思いますか」「国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」など）については肯定的な回答の割合が高く、本校児童の前向きな姿勢がうかがわれます。少し気になるのは「自分には良いところがある」と回答した児童の割合が昨年より少なかったことです。多くのことに意欲的に取り組み、成果を残している子どもたちですので、もっと自分に自信を持ってくれたらと思います。今後、子どもたちの頑張りを認め、褒めるところをしっかりと褒めて、自己肯定感がより高まるような取り組みを進めてまいります。

1学期末には「授業アンケート」へのご協力ありがとうございました。いただいたご意見を謙虚に受け止め、今後の改善に努めてまいります。